

動輪

No. 16
1976・12・18

1976年 秋
千葉地本青年部
たたかいの記録

国鉄動力車労働組合千葉地本青年部・発行

千青「激闘の三ヶ月」の成果をナツチリとつち固め、 歴史的な激闘の時代を真正面で担いさる青年部 運動への飛躍をかけて、 七七年春への総決起・総行動をかちよう

「たたかひの記録」発行にあたって――

一九七六年十二月

動労千葉地本青年部・常任委員会

「急迫する侵略・反動・暗黒の攻撃に真正面から対決し、全ての青年部員は秋季反戦斗争の最先頭を担いさるう！」―― 全ての青年部の皆さん！ すさまじい情勢の展開を前に身をひきしめる思いで、かく宣言し文字通り一丸となつてわれわれがこの秋に突入して以来、三ヶ月余りがたちました。文字通りの不眠不休・斗いにつぐ斗いの三ヶ月でした。のべ21波！といういまだかつて経験した事もない課題を必死にくぐりぬけ「たたかひの記録」を整理している今、われわれは写真の一枚一枚に、ピラの一枚一枚に全員の流し切った牙の重みをずっしりと実感できると共に、あらためて全支部青年部の執行部を先頭に一人の例外もなく120%の秋季総決起を実現しぬいた全ての青年部の仲間と心からの敬意を表すると共に、わが常任委員会は次なる飛躍にむけ決意を新たにします。

板内店の軍事衝突という衝撃的事態の中で、地本青年部定期委員会（8/28）を開催し新体制と秋季方針をスタートさせたわれわれは、緊迫につぐ緊迫の朝鮮侵略戦争策動下、「ミグ事件」「タイクレーター」「日米防衛協力条約」「自衛隊独立化」「ロッキード泥沼」「自民内紛」については「天皇制をかざしての攻撃」と危機の延命をはかる支配者階級と真正面切り結び、9/29/30仲裁裁定をめぐる斗い、「10/3三里塚」「10/21反戦斗争」「10/31狭山」「11/10天皇50年祭粉砕斗争」を頂点とする連続決起を実現する一方で、青年部問題の階級的解決と体制強化、「総選挙斗争」をも全力で担いさる大きな勝利をかち取りました。

と同時に、われわれは現在の時代の進行にいまさらながらの重大な危機意識を感じざるを得ません。どんすまりの危機に叩きこまれた敵は今、明らかに「なりふり構ってられない」「攻撃の方向をとってきこえる事は明らかです。世界的にも、日本的にも、また国鉄情勢から言っても全てそうです。例えば恐慌と戦争と革命の一九三〇年代をほうふつとさせる。弱肉強食の戦争的政策。一本にかけきったカーターの登場。総選挙自民党55年体制の崩壊。韓国朴体制の絶望的危機。貨物反台基地統廃合攻撃にかける国鉄当局の攻撃のほこ先、等々、これを見ても、いままで通りではやっていけない。支配者の絶望的凶暴化を示しています。

全ての青年部の皆さん！ われわれは、この秋季斗争の成果を大きな自信をもって確認できるが故に、このたびに寄せられた体制の危機の時代を責任をもって労働者階級・人民の解放の斗いの勝利へとぐいぐい導いていかねばなりません。情勢のすさまじさ、朴の暴圧下で英雄的に決起したソウル大学500名の決死的示威（12/8獄中で闘う金芝河金大中氏ら南朝鮮人民の声、獄中14年石川さん決死の叫びと闘い、三里塚農民の闘いと生活などに直面する時、われわれは、この秋の、成果、にのみ一刻たりとも甘んじている訳にはいきません。

- 一、国鉄「再建」計画粉砕・貨物削減・基地統廃合攻撃に対決し、竹春斗に勝利しよう！
 - 二、侵略粉砕・狭山差別裁判糾弾・県下青年婦人運動の一大共闘をもつて勝ち進もう！
 - 三、小選挙区制・天皇制攻撃を始めとする諸政治反動と対決する青年部運動を構築しよう！
 - 四、千葉地本青年部への新たな暴力的排除策動粉砕、戦斗的階級的統一と団結をかちとろう！
 - 五、三里塚軍事空港粉砕・ジェット燃料貨物車輸送阻止！
- 一、二月全青年部員の総決起・総行動を実現しよう

十二月五日と六日開催された地本全支部青年部長会議は、以上の「五つの課題」達成をかけ斗いぬく事を決議しました。

七七年春にむけて、いよいよわが本領発揮のときです。一丸となって前進しましょう！

狭山差別裁判の真相を実証的にあばく

狭山映画

「造花の判決」

カラー作品
上映時間
1時間53分

上映集会に

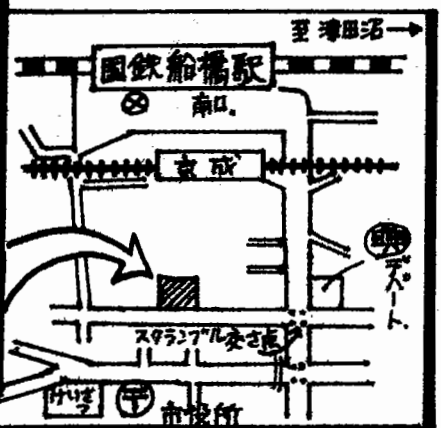
最高裁の密室書面審理＝
「上告棄却」攻撃を打ち砕け

9月28日

(火) 午後6時より

会場

船橋商工会議所
6階大ホール



9.28「造花の判決」狭山事件上映集会に結集しよう！

10.31寺尾暗黒判決2周年糾弾大集会へ

ロッギード危機！自民党内紛に示された
板門店事件に示された一触即発の戦争挑発
まわっている支配構造は、ム、ム、ム、
の道をひた走ろう
きた狭山差別裁判
裁判官で固め、石
密室書面審理＝早
ころか、担当判事
判決は立派だ」と
獄中14年、病
と魂を、こうした
をかけてゆだねる
石川さんの無実を
なりません。石川さんを生きて尊厳する最
市民の「石川さんは無実だ！」というさけ



企画制作 部落解放同盟中央本部
「狭山」映画製作委員会
集会主催 「造花の判決」上映
船橋地区実行委員会
協賛 全通船橋市青年部、
国労津田沼青年部、勤労津田沼青
年部、東洋エンジニアリング労組青婦部他

写真は、部落解放同盟千葉県連の谷川氏
も出席しての、9.28船橋地区「造花の判
決」上映集会。10.31への総決起を誓う



10.31、狭山大斗争へ向けて、県
下各地で、部落解放同盟千
葉県連(津)との固い連
帯のもと、「造花の判決」
上映集会を開催！

9.28 船橋地区上映集会

勤労・全通・国労・
東洋エンジニアリング・
新京成等 350名結集

10.25 千葉地区上映集会

勤労・数組・水道・
等 350名結集

10.27 成田地区上映集会

三里塚青行隊・勤労
日赤等 200名結集

10.29 勤労・全金・国労

青婦部上映集会
150名結集

のべ1050名の県下
青年婦人労働者が結集！
部落解放同盟千葉県連との固い連帯
のもと狭山争の歴史的勝利を勝ち取り

9.29-30スト中止弾劾 社共日和見指導部の屈服路線のりこえ、無期限強力順法 長期大ストへ！ 仲裁完全実施 三果塚 反戦 侵略粉碎10月総決起なちとれ！



9.29-30ストにむけて、新小岩棧閣区



小雨ついてスローガン描き、幕張電車区

一部日和見指導部は屈服
 29、30ストは突入直前になつて中止さる！
 だがしかし...



戸原の櫓も鮮かに 新小岩棧閣区のDL

モの先頭を担った青
 年部は、直ちに全支
 部ろつ城体制に入り
 ありからの小雨をつ
 いて圧倒的、先制的
 スローガン斗争にた
 ち上った。
 ゆれゆれは、この
 斗いの大衆的高揚と
 敵の攻撃の新たな性
 格、既成指導部の完
 全な屈服と破産——
 この今日の労働運動
 にかげられた歴史的
 試験を真正面から冷
 厳にとらえきり、突
 破していかなければ
 ならない。
 危殆に立つ帝國主
 義が侵略と侵略体制
 づくりへ翼賛組合化
 をかけて攻撃にうつ
 てでている今、ゆれ
 ゆれは、侵略阻止・
 再建10年計画粉碎の
 機軸を高く、政治的
 経済的思想的全面的
 斗いを構築せねばな
 らないのだ。



政府・当局の「赤字宣伝」攻撃を粉碎し、全国で国鉄労組者は立ち上がった。「仲裁々定完全実施・運賃値上げ反対、国鉄労連104部計画粉碎！」怒りのシュプレヒコール！（9.27夜、新幹線集会）

（上）スト前夜、千歳管理区前は南風はじまって以来の2000名の人波を埋められ（9.27夜・千歳前）
（下）新幹線集会を先頭に怒りのジグザグデモ。29-30ストへ突入せよ！（9.27夜・千歳駅前通り）



9/29
30ストへ

仲裁々定完全実施
運賃値上反対

政府・国鉄当局は、ゆいゆいが春斗でかちとつた仲裁々定（金を分けてやる）さえも、国鉄財政が「赤字」との口実で「運賃値上げが実施されない限り、賃上げはできない」として、国鉄労組と野党を含む指導部への攻撃をしかけてきた。

賃上げが欲しかったら、運賃値上げ・合理化に全面協力しろ！！——政府当局のこの示タラメな挑戦に対し全国の国鉄労組者は怒りをもって9.29-30ストへと立ち上がった。

しかし、国会内野党はこの攻撃に完全に屈服し、パーটারにのみ腐心、一部組合指導部にあつても、中央本部・高木国鉄総裁向で前向きな言質が得られたとして、ストを構えて燃え上る職場労組者の戦斗性に水をさし、非常に曖昧な斗争中止を行つた。

中央段階におけるこのいっただよ的な現状をなんとしても突破すべくゆいゆい千歳地本と青年部は、全力の斗いに突入した。9月27日、県公労連総決起集会が勤労千歳地本の指導のもと千歳管理区前で開催され、勤労を中心とした公労連・交運共闘の仲間約3,000名決起集会が実現した。

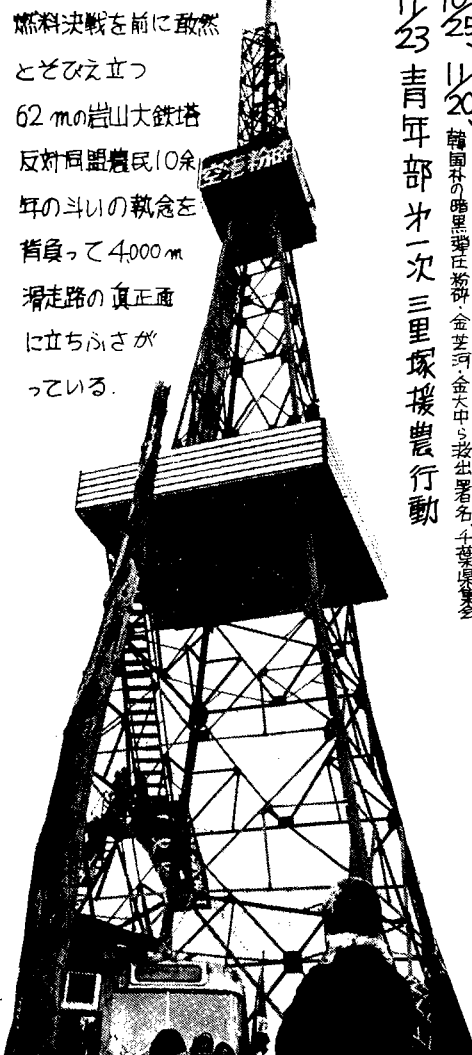
集会后千歳市内を席卷する長蛇の戦斗的示

輪動

No. 吉野幸成年 内正志

責任者 No.12. 1976. 9. 1 編集者

鉄塔決戦・ジェット
燃料決戦を前に敢然
とぞびえ立つ
62mの岩山大鉄塔
反対同盟農民10余
年の闘いの執念を
背負って4000m
滑走路の真正面
に立ちふさが
っている。



11/10 天皇在位50年式典粉砕斗争

★当局の半信不疑を完全粉砕
★午後・地本主催、抗議講演集会
――三〇名――

10/25、11/20、韓国分館駐在粉砕 金芝河・金大中・救世署名 千葉県集
11/23 青年部が一次三里塚援農行動

10/31

狭山差別裁判粉砕・寺尾
暗黒判決糾弾2周年 狭山10万人総決起集会――全千葉署名
10/31 とうだ選挙動員(8名)

11/6 総選挙勝利と選挙権総評青年協決起集会

10/21

★青野部討議資料10/21反戦ストライキで
先制的連日ローガン斗争に決起
佐倉拠点――北総3支部
幕張拠点――総武南総8支部
――三〇名――
――五〇名――

10/19

★青野部討議資料10/21反戦ストライキで
先制的連日ローガン斗争に決起
佐倉拠点――北総3支部
幕張拠点――総武南総8支部
――三〇名――
――五〇名――

10/17

★青野部討議資料10/21反戦ストライキで
先制的連日ローガン斗争に決起
佐倉拠点――北総3支部
幕張拠点――総武南総8支部
――三〇名――
――五〇名――

10/21 日米防衛協力小委開催
徹底強化
せよ実行

17回定期委員会 172名 参加で 圧倒的
にかちとられる

吉野 新青年部長(幕張)のき
千青常任委体制を確立

次回千葉地本青年部定期委員会は、匿名の委員、傍聴者な結集し、終日この一坪
の偉大な成果、教訓を総括するにふさわしい熱気と直創な討論のなかで圧倒的にかちと
られた。この直創な討論と熱気のうちに青年部の新たな進撃の大きな一歩がふみださ
れたのである。

定期会でとりだされた内容は、ヤーに、日米同盟主義の朝鮮侵略戦争挑発の情勢のも
とでわれわれ青年部活動者の責務を鮮明にし、侵略と反動に対決する青年部運動の確立が
確認されたことである。ヤーに、三里塚空港粉砕、ジェット燃料貨車輸送阻止の方針
、そして、ヤーに、青年部は動力車の戦斗的統一と団結、直の組合民主主義確立の闘い
をさらにすすめることあり、最後に、吉野新青年部長を失職に、確立された新役
員のものと、反戦、反台の今秋選挙に総力決起していくことが圧倒的にかちとられてい



あくはき前進を求め先頭に立つ青年部(10/21 代々木公園)



既成指導部の斗争放棄をのり越えて、闘う共闘が橋上げられた



まさに板門店事件は進行する朝鮮侵略戦争策動を現実のものとしてわれわれにつぎつ
けた。

われわれはこうした緊迫する朝鮮情勢下、才門回地青定期委員会を南催し、総括を深め、新指導体制をうち立てると共に、この日米帝国主義の朝鮮侵略戦争策動と真向から対決し、いよいよ青年労働者の責務を鮮明にし、千葉地本全青年部員の固い決意と情熱を結集し、歴史的な七六年秋の斗いに突入した。

一九七六年秋 千葉地青・闘いの記録

——急迫する侵略・反動・暗黒の
攻撃に真正面から対決し、全ての
青年部員は秋季反戦斗争の最
先頭を担いさう！

(千葉地本青年部・10月斗争宣言より)

8/21 ジェット燃料貨車輸送阻止 鹿島現地集会・デモ 100名

8/28 オ17回地本青年部定期委員会 板門店事件 一七二名
新体制確立、秋季斗争方針決定

9/12 ロッキード糾弾・秋斗勝利 中央集会

9/20 ロッキード糾弾・総選挙勝利 中央集会

9/27 仲裁決定実施・スト貫徹 県公労総決闘会 千鉄局前 二〇〇〇名
全取壊さう城スト体制進行、スローガン列車一斉に走る 労働者たち

9/30 仲裁決定完全実施 48h スト 突入直前に
国鉄運賃値上阻止 中止指令

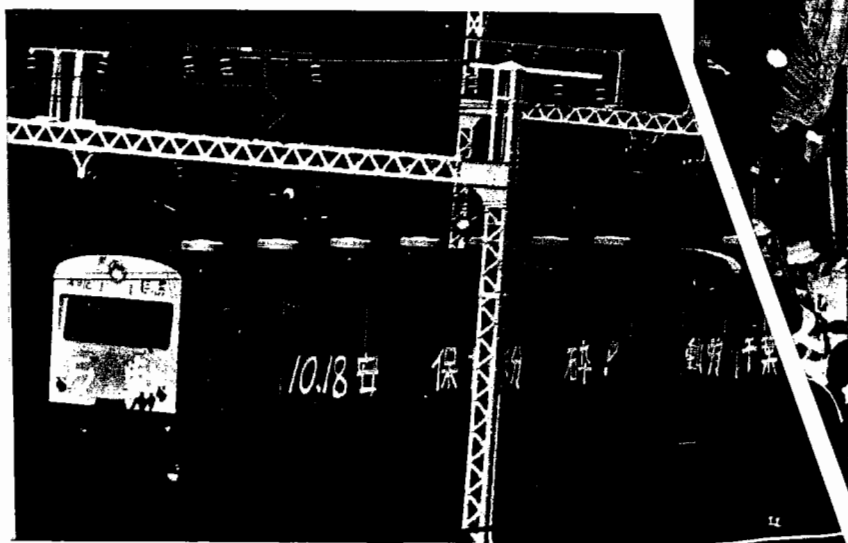
8/28 船橋地区狭山「造花の判決」上映集会 三三〇名
三里塚空港粉砕・全国総決起集会 労働・全地・国労

10/3 「むつ」母港化阻止 佐世保現地集会 TFC・新東成等 全体五〇〇名

10/8 最高裁判所憲法部憲法粉砕 10/31総決起狭山中央集会 千鉄局前 二〇〇〇名



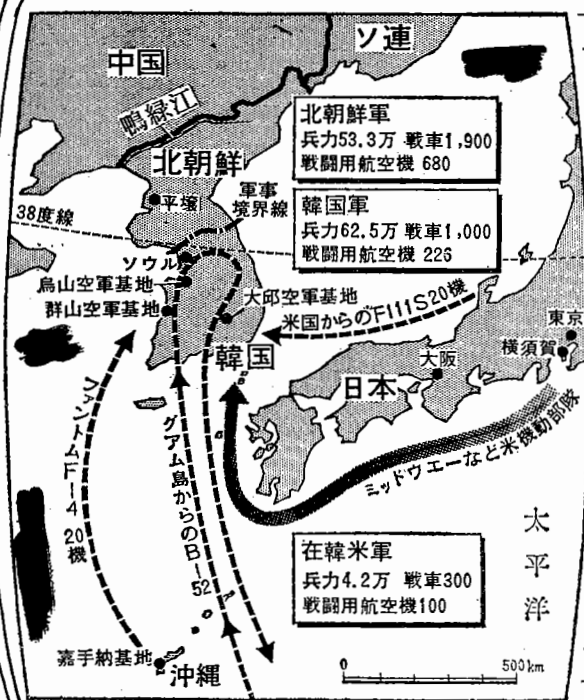
巨万の闘う民衆の声援に迎えられ入場する千葉地青部隊 (10.31 狭山・明治公園)



10.21 国際反戦斗争にむけ青年部は先制的に連日のスローガン斗争に決起した

米将校二人殺さる板門店

米空母ミッドウェー、朝鮮海域へ



緊張の激化は必至
軍事偶発と受け取らず

米、沖縄嘉手納基地から
横田へ米給油機15機

韓国にF-4急派
板門店事件で

中華人民共和国

板門店事件



北警備兵と衝突
きっかけは木の枝払い



「ポプラの木伐採」を契機に発生した「板門店」軍事衝突（1976年8月18日）

一九七六年八月一八日、38度線
板門店で遂に軍事衝突が引き起
された。

朴もフォードも金日成も瞬時に全面的臨戦体制に突入した。38度線は日本の防衛線をうそぶく曰帝支配階級はまさに、自分の戦争として自衛隊三軍を完全に米軍と一体化させて発動させた。沖縄から海兵隊ファントムが、横須賀からミッドウェーのオセロ艦隊が、グアムからB52、更に本土からも支援部隊が急派された。あらゆる面で臨戦・一触即発の戦事下に叩き込まれていたのである。しかもこのような最高の軍事緊張の中で、8月21日フォードは大統領最高命令を発し、米・韓・自衛隊のスクランブル体制に入ってしまった。再び米軍大部隊を構えて極めて挑発的に「ポプ

(次頁へ続く)

「上告棄却」策動ゆるすな



三労組青年部の固い連帯のなかにちとられた10.29
勤労・全金・国労「造花の判決」上映集会



獄中14年、石川さんの血叫びに答え、狭山決戦に絶対勝利すると！

三里塚青年行隊とともに！
成田地区「造花の判決」上映集会



三里塚空港紛争
山鉄塔防衛

上映集会への結集を呼びかける
実行委員会のビラより

狭山事件とは？

昭和三十八年五月一日、埼玉県狭山市

でおこった女子高校生中田善枝さん殺し
事件のことです。

同日、口田良一、高田大次郎、三ツ子、



いう多数の警官を動員したのです。しかし
手がかりのないままに、被差別部落へ見込み

調査をくりかえす、ついに、五月二十三日、

輪動

No. 1976 10年28日
責任者 吉野幸成 編集者 堀内正志

部 青年 部

一雄氏奪還の成否かけ、
大集会へ



10.21へむけ、

つぎつぎと先制的決起がちとろ

電車区を完全に制圧し、全列車に戦斗的スローガンが
(右) 幕張拠点 → (左) 津田沼拠点 ↓



10・21国際反戦デーの斗いは、決定的な爆発を切りひらいた。すさまじい体制的危機にかられ、侵略・反動・暗黒への道にのめり込む支配者階級の攻撃、しかしながらそれに敗北、屈服し雪崩うって後退する。社共日和見指導部——10・21斗争は、今日の労働運動の危機的状況を下からつき破り、激動の時代を勝ちぬく新しい運動の展望を、質・量ともに鮮明に、力強くつき出した。「屈服が許さず、中間の連中も安心の巻は一切無い。わが千葉地本の決起は、支配者のいど元都圏を騒然たる状況に叩き、斗的決起を引き」

全ての青年部員諸君！

10.21国際反戦斗争

首都戒厳体制つき破り、ゼッケン・ハルの
動労千葉380名(代々木公園230名
本町公園150名)

巨万の隊列の最先頭で決起

『朝鮮侵略粉碎』『天皇50年祭粉碎』かけ
のべ3波、のべ120本のスローガン列車
管内・首都圏を完全に席卷！



10.21へ向けて 連続決起

10.18

社・共・既成指導部の総選挙への埋没——斗争放棄をのりこえ千葉地青、唯一、先制的に決起

10・21国際反戦斗争は、わが動労千葉の先制的・戦斗的スローガン列車によって切り拓かれ、大爆発した。

10月17日夜、東洋一、二の電車区たる津田沼・幕張の二地点を完全に制圧したわが青年部は、「オ一液」スローガン斗争に突入した。全収容列車一本のこらず石灰の色も鮮やかに戦斗的「激し」を、「抗議」を描きはまり、首都圏の労働者、人民に、10.21への総決起を訴えたのだ。

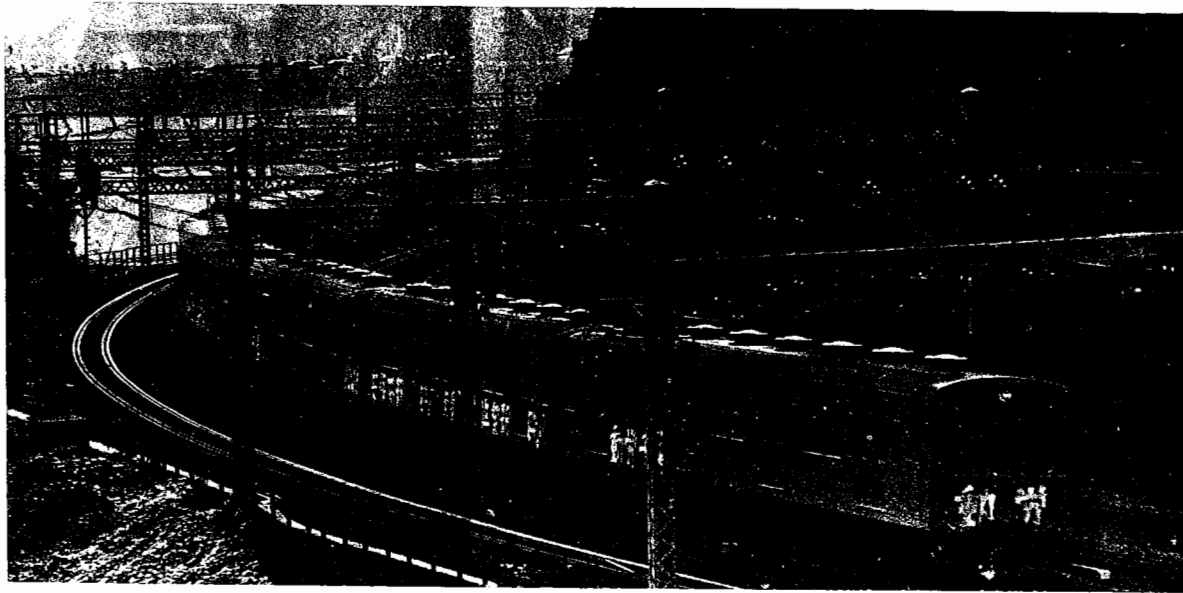
「朝鮮侵略粉砕」「天皇50年祭粉砕」「10.21へ」のスローガン列車は、朝の首都一完全に席巻し、走りつづけたのである。

労働者人民の苦悩と怒りがこれほどまでに充満しており、支配階級がこれほど傍若無人な攻撃にうってでているという事態下、一切の既成指導部が、乗客めに没入し、あまつさえわが動労内にあつてさえも、昨年10.21すらをも大巾に下まわる「20分間の脱場集会」という戦術設定に終始するという、指導の危機に直面していた。10.21日をストライキをも含む実力斗争として「おう」と訴えたのは、(15日の全国戦長会議)全国でただ一人、わが千葉地本奥川委員長のみであった。

10.19

千葉青年部総決起策会(千転議事室)会場埋め尽す青年部一九〇名、熱気で10.21総決起を決意。

この日、会場は通路まで埋まり、熱気の中、「朝鮮侵略戦争への歴史的突入」という決定的時点、この時にあつて逃亡をきめ、む一切の勢力をつき破つて、シラマシラ人民との血闘に連帯の叫びを10.21から11.10へをかけた。吉野青年部長の基調演説をうけ、各来賓の挨拶、中野地本書記長の講演をうけ、最後に各支部及び青年部長がつぎと立て、10.21へ向け総決起総行動を表明、各地実況事実上の取場釜場体制に突入。「オ二液スローガン列車」「ビッケン・機断事つくり」「ミス・壁新聞エテッガ」「看板」そして、「資料を軸にオルケと討論会」等々、文字通り青年部を先頭に二二〇〇名一丸と「10.21へ」を進んだのである。





獄中14年、石川さんの無実の叫びに応え、全国から結集した、解放同盟・労作者・学生・市民20万人の隊列は中央会場の明治公園からあふれ出る空前の大爆発を実現した。現在最高裁は大きく盛上る運動に恐怖し、密室書面審理・早期上告棄却攻撃の策動を強めている。審理を開始する前から予断偏見をあらわに石川氏有罪の言動をはきつつ反動裁判官で固め、棄却攻撃のチャンスを狙っている。

千葉県下からも動労青戸部を軸に国労全通・全金教組・電通・水道工団・民商等40名の共闘を積み上げて参加し、大きな展望を開いた。

10.31 狭山差別裁判糾弾 中央総決起集会10万人

寺尾暗黒判決2周年 空前的な大爆発を越える

石川氏奪還。20のセクション・ハナアキも鮮やかに、部落解放同盟千葉県連の要請を受け、各単産青婦部450名が千葉から参加




10.31 林立する組合旗、道路いっぱいにはうねりをあけて進撃 (青山通り)



組合本部の競争果集め没入・狭山斗争完全放棄をのりこえて全国から駐場の決起を勝ちとった戦闘的労作者は、動労千葉の旗の周りに次々と集まり、期せずして一大合衆集会となった。(10.31 明治公園にて)

10.19 1021 戦争勝利 地青総決起集会

千葉連戦区 17時30分



(1/3)

10.19 1021 戦争勝利 地青総決起集会

千葉連戦区 17時30分

(2/3)

10.19 1021 戦争勝利 地青総決起集会

千葉連戦区 17時30分

(3/3)

10.19 1021 戦争勝利 地青総決起集会

千葉連戦区 17時30分

(4/3)



17時すぎ、全支部からの東京動員者が指定列車で次々と合流しつつ最後尾の両面をほぼ貸切り同様で品川駅到着。直ちにホームで全員ゼツケンとヘル育年部をつけ整列、シュプレヒコールでトキの声をあげ、人波をかきわけつつ代々木公園へとむかう。原宿駅、突如としてドツと降り立ったのが230のゼツケン隊列に、動員者でどったがえすホーム。改札口は興奮と驚嘆に包まれる。長蛇をなして公園にむかうのが隊列に声援激励が傳ぐ。会場は既に参加労組でいっぱいのため先着動労部隊との合流はテモ出発時になる。残動隊の規制をはねのけ新宿までの戦的テモを貫徹しぬいた。

(テモ途中、千葉地青の堂々

21日早朝「オミ波」エローガン列車が滑り出す中、幕張と佐倉の二拠点で千葉地本職場総決起集会が南催された。幕張へは総武・千葉・南総グループの代表が、佐倉へは北総グループの代表が合流して、早朝一時間の集会を勝ちとった。

10.21 早朝一時間の決起集会

④ ゼツケン・ヘルに身を固め、230名

(代々木公園) 150名(本町公園)

断乎たる戦的テモを貫徹

たる登場にありて一部の反労働者分子の口惜まぜれの暴力行爲がけつつけ的に千葉の旗手に加えられ、それをとがめた支部役員のゼツケンをひきちぎるという許すべからざる行爲が行われたがゆいゆいは整然とこれをはねのけて最後まで意気高く闘いぬいたのである。



年配者も10.21決起! 代々木公園(夜)

究豊産災也で起つ

ハンスト(全国)で百カ所

最高裁に事実審理を要求して



最高裁前には総勢100人が座りこんだ

空前の
ハンスト貫徹

狭山最高裁第三波闘争として、この十月三
で十万人の大決起集会が開かれたが、これに生
午前八時を期して、東京最高裁前をはじめ全
カ所二千人が最高裁に口頭弁論・事実審理を
八時までの大ハンガーストライキ闘争に突入、

2000人という空前のハンストに突入！
10月31日、部落解放同盟は、全国100ヶ所



石川一雄氏



10.31 勳輪旗をおしたて千葉県下450名の青年労働者とともに明治公園から
進軍する動労千葉の部隊



10.31 明治公園。ギッシリ埋まった会場の一画には、労働組合ぐるみ決起の隊列が注目を引く。ひととき鮮やかに勳輪旗



10.8 狭山中央共闘集会(日比谷野音)全員セツケン・ハチマキで斗争貫徹。石川氏率いる100名のシュレヒホル。

11
10
天皇在位
50年祭紛碎
内争

11・10 天皇在位50年式典粉碎講演集会
―― 県下の戦闘的労働者150名を結集してかちとる――

天皇は差別の象徴
立正大、浅田光輝教授講演

速報 No 12 昭和976 年 11 月 12 日
動力車千葉 TEL { 2258
2259

[illegible]

が選出している韓の刀佐性支持でこれに對し、「一韓刀佐性の拍手がこれを露落した。」

二、民主政治運動會を支持し、金中中、金芝河、政府府の政務を要求する百万韓刀佐性、産業銀行員會のメンバーである、千中中、千中中が、〇月二日か三日、露落に對し、政治運動に活動するハンガースライを聞いていた、露落解釋、政治運動の活動、金井南氏がこの露落運動に参加していることが紹介され、百万人署名、選が各支店で実施するといふことが述べた。

三、本露落の正において、運轉し、露落といふと、あたためて踏んで、といふ語に對し、韓の拍手と露落とをこれを露落した。

革新陣営総体の天皇制イデオロギーへの
屈服を乗り越え、総選挙争、七七春閣
の勝利の展望をきりひらけ！

組織はなほ「」に入つてゐた。

町田者の報告にある岡田氏の「今日、天皇〇〇年式典として一日に、多くの労働組合、多くの革新政党が愛憎の方面に向ひて集まつてゐる」と云ふのは、その大體を述べたものであつた。

そのような状況の中で、労働力の地方組織である労働青年連合本が委員以下、総体としてこの問題を取り組んでゐることが、ひとりの書でよく表裏を著した。

若き世代が、七十年代に入るからならぬ此時に、天皇と云ふ問題に提起してきたいといふにしても、それが誰の問題、在日朝鮮人の問題、身振の問題とも、差別の問題とバブルも出てきたといふことに、大きな意味を感じ、「事前備きた」状態を造つた。

また、理の世界的政治動向の中で日本の文明に前向き主義へ進

の状況、経済情勢であつたといふことを断絶における大衆の熱烈な愛國心から見て、経済情勢であつたといふことを断絶における大衆の熱烈な愛國心から見て、

さらにこれをばらばらに用ひたゞる（二）代へての天の恩恵と云ふ天恩、愛徳という可成るものをつゝ運ぶ。象徴としての天恩の形式的説明

そして、國家の學力によつて断絶にまゝ高めて、つゝ失墜と

今日の姿があらにされたといふ。

今日、國家をわかれた象徴という一連に「つゝ」つけられた天恩は、もはや戦前の專制君主としての尊厳を失つて、無實に存在になつたのである。それを批判し、現日本は國家の御にいて、

愛國情勢に、何故か皇とつて存在をくぐくが必要なのといふことへの明もあつて、一時四〇分になつた。舞臺中にたつて象徴

の状況、経済情勢であつたといふことを断絶における大衆の熱烈な愛國心から見て、経済情勢であつたといふことを断絶における大衆の熱烈な愛國心から見て、

11月10日、政府支配階級は
 天皇在位50年を祝して大々的
 な奉祝行事を、国民総動員で
 やろうとした。計画では、
 政財界要人はじめ民間諸団体
 を総動員して武道館・皇居前
 ・靖国神社に集め、日の丸の小
 旗をうちふつての大パレード
 、これに呼応して生長の家・
 勝共連合・菊水会など民間右
 翼も全国主要都市でのキョウウ
 チン元モ等々文字通り「官民
 右翼の総動員」をもって天皇
 のもとへ国民の一大忠誠運動
 を狙ったのである。治安当局
 は、天皇警備を口実に次々
 とエスカレートした弾圧を
 くりひろげ、ロッキード危機
 Ⅱ自民内紛の支配の危機を救
 うべく、今まで通りのやり方
 を自らくつがえして、侵略暗
 黒反動の伝統的支配の突破口
 をあけようとした。

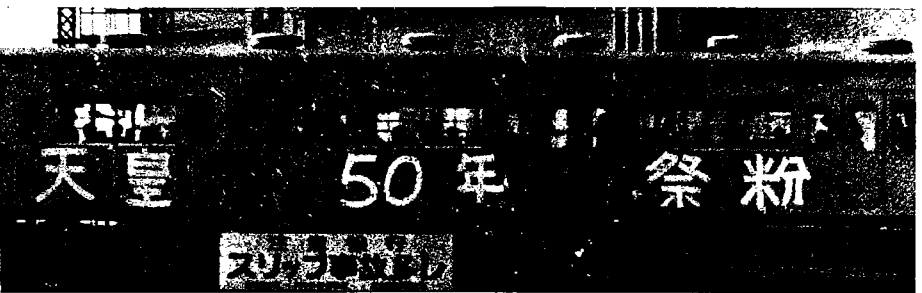
卷えても見よ。理天皇ヒロ
 ヒトの50年こそ侵略と殺りく
 戦争と弾圧、差別抑圧の50年
 そのものではないか。われ
 われは断乎として、奉祝を
 拒否する。戦前日本労働運
 動が大政翼賛会運動へと変質
 屈服し、アジア人民への侵略
 ・虐殺の正史犯罪に走った事実
 への反省を齎き、斗うアジア
 人民と連帯し天皇・天皇制イ
 テオロギーとの全面対決を通
 し日本労働運動の正史的弱点
 を克服していかなばならない

動勞千葉唯一決起

当局の「半ドン」攻惠を
実力で完全に粉碎！

150名で抗義講演集会

浅田光輝教授まゝにき
そのような視点から勤労イ
葉地本は国鉄当局の「半ドン」
攻撃を、国労をもまきこみ実
力で粉碎し、当日、150名の抗
議集会をかちとった。既成指
導部の全面斗争放棄をつき破
って斗われた。10斗争の貧
これこそが70年代後半を真に
担いぬく労働運動の方向をき
りひらくのだ。



(Ⅱ)
11月10日

「天皇50年祭・奉祝・式典」の狙っている
事は何か

★侵略・反動・暗黒の強権的支配への
道を狙う支配者

★官・民、右翼の総決起呼号を粉碎し、
危機にかられた権力、右翼の反動的
跳梁を粉碎せよ

一、天皇在位50年祭攻撃は、二では、11月10日天皇50年当日何
何を狙っているのか

日本支配階級は、体制的危機・ロッキード危
機・自民党危機・政治危機の深まりの中で、国
家的大行事として天皇在位50年祭を準備し、そ
のもとに国民を総動員することによって危機の
越反動的突破（侵略と反動・暗黒の国内体制作
り）を狙っている。

天皇の軍隊は皇軍は中国全土で文字通り
悪鬼の如き蛮行をほいほいした。（「三光作戦」
殺し尽し、焼き尽し、奪い尽す）二度とこの歴史犯罪をくり返さ
はならない！

② 11月10日
国立博物館で

①、日本武道館で、政府の主催一万人祝典、皇族
「国内各界の代表」、在日各国大使、そして三
権の長である三木首相、前尾・河野衆参両議長
篠林最高裁長官が「国民を代表」して祝辞をの
べる

▲天皇制・天皇制イデオロギーとの徹底した対決の中にのみ「侵略に対決する労働運動」の路が
きりひらかれるのだ。この正史的対決をかけてわれわれは、「11.10天皇50年祭粉碎」に唯一決起した。



「昭和3年」陸軍筑波特別大演習を直接指導する天皇ヒロヒト
ヒロヒトは、このようにして最も残酷に人の殺せる軍隊・侵略戦争に生命をおしまない
軍隊を自らの直接指揮のもとでつくり上げていった。彼こそ最大の戦犯なのだ！

この侵略と殺りくの50年を『祝え』というのか！

決戦へおたけび

三里塚軍事空港粉砕・鉄塔死守
燃料輸送阻止、勤労千葉は闘うぞ



口々に闘い抜くぞ

鉄塔死守 農民に悲壮感

「身体を張って最後まで闘い抜くぞ」「三里塚・芝山の農民運動を革命に転化させる原動力は」「農民の叫びのなかに悲壮感があった。戸村一作委員長のおいさつにもいつになく熱がこもった。時折、雲間からのぞく秋の強い日差しに「鉄塔死守」のノボリや赤旗が映え、大きく波打った。六十二人という最近にない大軍の検閲者を出した「10・3三里塚鉄塔大決戦勝利全国総決起集会」。

運動の革命転化を 戸村氏

「三里塚第一公園」には午前十時過ぎ 団体なすが続々と詰めかけた。正午過ぎには主催者側発表で八千三百五十人(県警発表四千三百人)とふくれ上がり、昨年の10・3集会を大きく上回った。

成田の総決起集会

燃料輸送なお曲折か

勤労千葉が運転拒否

書記長「公団の見通し甘い」

◆来年夏以降に開港、新東京国際空港公団建設は先月末の記者会見で、成田空港オプシンの見直しを語ったが、シエント燃料の輸送拒絶についてはまだ具体的な問題が山積み、特に貨車輸送はその運転業務に当たる勤労千葉地本、関川空委委員等は、空港反対の連帯からも「運輸拒否」を打ち出している。県内国鉄関係の貨車の運転手は、一〇〇%勤労千葉であり、この姿勢が貫徹されると、貨車、軌道、燃料の供給が確保され、沿線住民の運搬が得られるとしても、暫定輸送は事実上不可能となり、公団の開港計画は大きく乱れることになる。

公団の計画による暫定輸送は、国鉄鹿島線、成田線を通る頭が子、千葉臨海鉄道に積み、蘇我田を経由してやはり公団専用線開港から三年間の期限つきで、鹿嶋、公団専用線にはいり、空港内、我部からいったん新小岩駅に逆も通過して貯蔵タンクへはいり、ここから鹿嶋臨海鉄道に積み込む貯蔵タンクまで、千葉港五井、とりして線路にはいり、佐倉、一ツ、鹿嶋コースからは一日十五

両編成の五列車を走らせ、三千ヤード、また千葉港コースからは一日十五両編成の列車で、千ヤードの航路燃料を輸送することになっている。公団側は、先月下旬、鹿嶋地区の鹿嶋、神栖、潮来の三町の合意を得た上で、暫定輸送の見通しがついたとして、開港発表年夏以降を目途にしている(大塚隆雄氏談)と先月二十日、公団創立十周年を迎えた際の記者会見で説明を出した。

史からいっても、空港反対同盟を常に支持してきた経緯から、昨年九月の定期大会でも満場一致で、成田空港反対を決議しており、ことしも九月の大会ではこの点を確認するところになっている。「暫定輸送のメドがついた」との公団側の説明に対し、中野洋勤労千葉地本書記長は「勤労は当初から、住民無視の成田空港建設には強く反対してきた。公団が燃料輸送のメドがついたと判断しているにせよ、それは変え間違い、千葉鉄道管理局管内の貨車の運転手は全勤労の組合員だ。勤労がワンというなら、燃料輸送は絶対に不可能。来年夏の開港など全くありえない。ことしも九月に定期大会を開くが、その席でも燃料輸送は断固反対を強調することになっている」と強い姿勢を公明した。公団側は、天筋では、国鉄に対し協力要請をしているが、事務的には貨車と運転士の確保は、石

高まりをみせた三里塚・芝山の反対闘争には学ぶところがいろいろある」と声をあげていった。関西新空港反対市民団体の代表もいた。淡路町反対期成同盟代表の永井満さん(西)。「この闘いの熱気を関西の仲間たちに伝えたい。団結による闘いがいかにすばらしいものか」。前の晩の七時、バス一台をチャーターして住民五十人ともやってきたのだ

見な去はに公一可て五昨め学るう前警だ

ジェット 燃料輸送阻止

スリッパ

岩

とりで

動力車 青年部
津沼部

支部青年部校奥紙

1976-9-10 NO25号

今月のことば
今までのあ
らゆる社会
の歴史は、
階級闘争の
歴史である。
マルクス・エンゲルス
「共産党宣言」より

大爆発 鹿島現地斗争

三里塚ジェット燃料輸送阻止
三里塚空港粉砕

斗争労働者・学・市民
800名が結集

8月21日、「ジェット燃料輸送阻止三里塚空港粉砕結集会」は、現地、鹿島中央公民館に、800名を結集して圧力的にちかとりれた。

会場は、地元住民・三里塚反対同盟・高浜八千拓反対同盟など、斗争労働者・学・市民の大結集で、現場の上まで立舞の余地はくつめつくされた。

この日、現場の燃えるような熱気のため、政府・公団のあせりにみられた鉄塔破壊、川崎港第2期に対して、反響の火のつぼみであった。

北原反対同盟事務局
長が発言、「もつとも信頼する動力干渉」

集会の冒頭に、三里塚反対同盟・北原事務局長は、地元三里塚でのデモラメキをまわし、闘争にたいして怒りをこめて激励、「三里塚斗争10数年を闘いぬいてきたのは、今、ここに結集しているこの部隊だ。そして今日、ジェット燃料輸送に反対する地元住民と反対同盟がここに集結し、共同関係を築く。この意義ははなはだ大きい。

なにより「燃料輸送に対しては、もつ信頼する動力干渉地本の同志な、乗ることも阻止する」と宣言している。この宣言は完全にいきづまっている熱烈に訴えた。

続いて発言にたった地元鹿島の奥ん。この集会の基調報告だ。

鹿島住民は本日打ち、三里塚には大格なとびえる。

「政府・公団は、三里塚の闘争を口実に、三里塚の更地をおしつづし、岩山大鉄塔の破壊をねらっている。だが、鹿島住民は本日打ちあがり、三里塚には全10万人共闘の岩山大鉄塔を敵としてとびえたっています。……斗いは三里塚、鹿島だけでなく、明日は香取で、佐原で、成田で、千葉で、燃料輸送阻止線10キロにまたがるあらゆる場所。斗争住民を結集し、斗争の勝利のために闘いぬこう。この提議を受けて、北原事務局長、高浜八千拓反対同盟、三里塚反対同盟、三里塚空港粉砕、三里塚斗争10数年を闘いぬいてきたのは、今、ここに結集しているこの部隊だ。そして今日、ジェット燃料輸送に反対する地元住民と反対同盟がここに集結し、共同関係を築く。この意義ははなはだ大きい。



8.21 鹿島に斗いの火の手が上った！ 斗争鹿島住民を先頭に800名、会場からあふれおきた結集。動力も100名参加。鹿川委員長の決意表明は万雷の拍手で迎えられた。

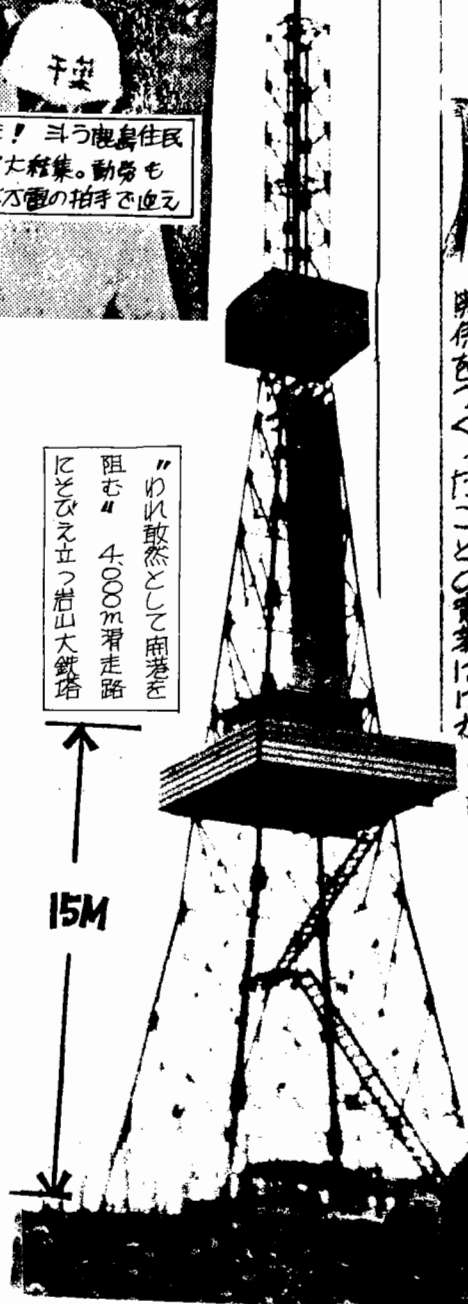


道路建設阻止
総決起集会

76年2月鉄塔破壊攻撃に反響、動力も成田支部を主軸に緊急行動で斗争。場上は動力の決意を高くした。

「われ敢然として南港を阻む」 400m滑走路にどびえ立つ岩山大鉄塔

15M



一九七六年秋、千葉地 青運動のかちと た三つの成果と教訓

一九七六年九月、十月、十一月——この三ヶ月間は文字通り斗争につぐ斗争の連日であった。各職場毎の集会、大会や総選挙斗争の動員を除外しての大小様々の集会・示威だけでも計21波、のべ2,565名の参加動員という、いまだわれわれの経験したことのない「激斗の三ヶ月」であったと言っても過言ではないだろう。情勢は緊迫しており課題は山積していた。いかんともし難い構造的不況に加えてロッキード危株自民内紛の政治危株にのたうちまわる支配階級は明らかにその攻撃の方向性、攻撃の質を変え、エスカレートさせてきている。しかしわれわれにとって決定的な危株は、このような支配の危株に支配者階級の絶望的な攻撃教化の本質をはっきりと把みとり、その本質的な弱点をついて敵を片たがたに追いつめ打倒していく労働者の側の斗いの新しい展望、路線が残念ながら何一つとして提起されない、即ち社共民同に代表される既成指導部、指導路線の全面崩壊という事態である。国鉄労働運動の現場にあつてもそれは極めてくつきりとつき出されていた。武蔵野線反合の完全放棄、スト権ストの裏切りの收拾、処分斗争のパーター……等々、際限なく続く屈服、後退の中に、危株は増々積上られてきた。いままで通りのやり方……の中にわれわれが安住し、今まで通りの指導部が同じことをくり返している以上、春斗は、いつまでたっても「××年続きの敗北……云々」は明らかであり、あげくは労働者の基本構えたる「合理化絶対反対」を……とひき降して、合理化では現実処理こそが重要……などとはざく背教者を生み出していくこともまた自明のことなのだ。

この激斗の三ヶ月に突入するにあたってわれわれのかかげた最大の獲得課題は、この一点にあった。すなわち、「運動の側の危株を実践的に突破すること——別な表現をとるならば、「われわれはいつまでも運動の敗北を、社共が悪い」「民同労働運動の破産」のせいにして批判しているわけにはいかない——自分の運動でその突破口をつくり出し、自らの責任をかけて、この激動期の新しい運動を大衆的に創造し指導していくのだ」という決意をこめてこの秋に臨んだのであった。



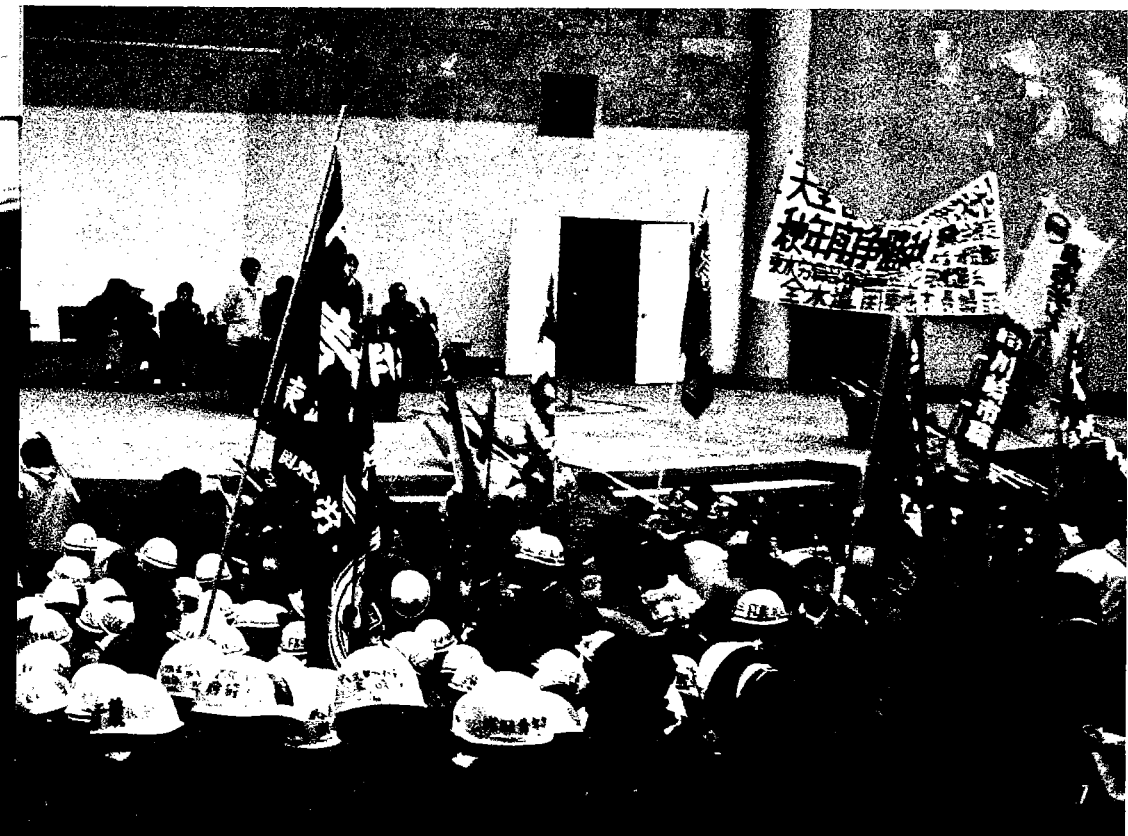
われわれは、この秋を全力で斗いぬく中から遂にこの課題実現に大きな突破口をひらくことに成功した。

一九七六年秋の斗いの中で千葉運動が、ちとった**「ハヤ一の成果と教訓」**は、この画期的な戦斗的・大衆的決起を生み出した力は何よりも本部・関東青年部一部分子の卑劣な暴力的敵対の数々に誰一人として一歩も屈せず正義の立場を全員が貫き通した事によって勝ちとられたという事である。理不尽な敵対裏切りにぶち当たるごとにわれわれは逆に燃え上り、動労運動の真の階級的前進を全国の多くの仲間への期待をかけて、戦場で徹底的に大衆的に討議し決意し、そして実践してきた——即ち「動労運動の戦斗的階級的前進・正しい事を正しいと言え、ぶよな組合にしていこう」という信念に全員がぎっばりと立ち切った事、この勝利である。われわれは今後もこの千葉地青に課せられた全国的・歴史的使命を実現する日までますます意気けんこうとこの正義の立場を貫き通して進むだろう。

一九七六年秋の斗いの中で千葉地青運動が、ちとった**「ハヤ二の成果と教訓」**は、日本労働者階級に課せられた不可避の歴史的試練——日本帝国主義の朝鮮アジア侵略策動と侵略国内体制づくりの攻撃と真向から対決し勝ちぬく日本労働運動の創出への勝利の突破口をはっきりときりひろいだした事である。支配階級が労働組合を帝国主義の先兵にする。大政翼賛会化を狙ってかけてくる攻撃を真正面にとらえ、労働運動の課題を（既成指導部のように）「日常職場要求・経済斗争だけに切り、ちがめることなく、金芝河金大中の糾弾とアピール、石川さんの血呼び、三里塚農民の斗いと生活にとことん学び応え青年労働者の進みべき歴史的責務として組合員一人一人の自己変革をかけて斗いぬいた事」の重要性である。103三里塚、1021反戦斗争、1031狭山、1110天皇50年祭紛争と連続決起の政治斗争を全組合員の最も重要な緊急な任務として勝ちとった勝利である。

重要な事は、この立場こそが同時に戦場にかけられている貨物合理化基地統廃合、スト権、賃上げ、77春斗勝利の経済的要求をも勝ちとっていく真の力量と路線をわれわれに与えるものだという事である。

「ハヤ三の成果と教訓」は、その様な歴史的新地平めざし先駆的に前進する力が動労千葉地青、千葉の斗い、とりわけ青年部の組織的前進と創意性、献身性を軸に、階級的連帯が、最もにも爆発的な発展期を迎えようとしている事である。右傾化し破産している既成の運動のワケを突破せんと闘うエネルギーを充満させている多くの単産



千葉地青「3つの教訓」をうち固め、
「5つの課題達成！」をかけて、
いざ、77年春へ

青婦運動に大きな合流の軸をつくり上げることに成功した事である。とりわけ千葉県下にあっちは、狭山、三里塚、反戦、個別経済斗争をめぐる青年共闘の展望は決定的に重要であり、更に強化していかなければならない。特に三里塚斗争・ジェット燃料輸送阻止の一大共闘実現にむけ、青年部は77年春頭からの文字通りの総決起・総行動を実現していくのである。いざ、勝利の七七年へ！

1976年 秋
千葉地本青年部 たたかいの記録

発行日 1976年12月18日

編集 国鉄動力車労働組合
発行 千葉地本青年部

千葉市要町2-8
<TEL>0472(22)7207
鉄電(065)2258